

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 1 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '地区防災組織推進事業' and '消防・防災対策の充実'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about disaster prevention organization establishment.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図 and various indicators (e.g., 地区防災組織結成区内世帯数, 市内世帯数, 学校区地区防災組織結成数) with values for 05-09 years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts (事業費) by source (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel (正規職員従事人数) for 05-09 years.

Table showing 06年度事業費実績 (千円) and 07年度事業費予算 (千円) with a total row at the bottom.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns for 07年度, 08年度, and 09年度 of implementation content, detailing disaster prevention organization activities.

事務事業名	地区防災組織推進事業	事務事業No.	30101001078	所属課	防災課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 阪神淡路大震災や東日本大震災の際、被災者救出等に活躍したのは地域住民の方々であり共に支えあう共助が重要であり、自分たちの地域は自分たちで守るという心構えて地区防災組織化の機運が高まり事業を推進してきた。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 複数の行政区が組織に関わっており、区長の任期による交代時にスムーズに引き継がれないか懸念される					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <p>学校区地区防災組織を支援することは地域の防災力の向上につながる。</p>
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <p>災害対策には地域の共助が重要であり、学校区地区防災組織の結成・育成に市が関わるのは妥当である。</p>
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <p>学校区地区防災組織が結成されれば地域の防災力が高まるので成果は向上する。</p>
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 <p>廃止した場合、災害発生時の2次被害が拡大する恐れがある。</p>
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <p>類似するものがない</p>
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <p>最低限の費用で実施</p>
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である <p>全地区が対象</p>

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括 (振り返り、反省点) 防災訓練や防災に関する説明会などを通して災害に備えることを説明してきた。市民が自ら備える自助、近所で助け合う共助、公的機関が行う公助の考え方を周知し、それぞれが災害に備えられるようにしていく必要がある。																							
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	成果	向上	コスト			削減	維持	増加				○			維持					低下			
成果	向上	コスト																							
		削減	維持	増加																					
			○																						
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策 避難所開設時には、市担当者が派遣され運営を担うことになるが、人数も限られ公助の限界が考えられる。そのため避難所の運営には避難者自身による避難所運営が求められる。地区防災組織は、災害前に自分達のことは自分たちで守る意識をもって構築されており、その意識を向上させ災害に備えていく。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ①																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B <p>A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出</p>	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	--